

令和7年1月6日 公告

「住之江下水処理場返送汚泥ポンプ外設備工事」

設計図書の一部に記載誤りがありました。下記正誤表をご確認ください。

正誤表

訂正箇所	誤	正
特記仕様書 第6章 第33条 2(1)形式	着脱式水中モータポンプ	水中モータポンプ
特記仕様書 第6章 第39条 2(4)特記事項イ	仮設返送汚泥ポンプは、現場および遠方から操作できるものとし、故障発生時には、仮設ポンプ現場操作盤に警報を発報し、遠方に一括故障で出力する。	仮設返送汚泥ポンプは、現場から操作できるものとし、故障発生時には、仮設ポンプ現場操作盤に警報を発報し、遠方に一括故障で出力する。
特記仕様書 第6章 第39条 3(3)特記事項イ	仮設余剰汚泥ポンプは、現場および遠方から操作できるものとし、故障発生時には、仮設ポンプ現場操作盤に警報を発報し、遠方に一括故障で出力する。	仮設余剰汚泥ポンプは、現場から操作できるものとし、故障発生時には、仮設ポンプ現場操作盤に警報を発報し、遠方に一括故障で出力する。
特記仕様書 添付図面 「仮設盤単線結線図」	添付無し	「仮設盤単線結線図」を添付

(誤)

(3) 使用圧力	2, 3系余剰汚泥ポンプ締切圧	
(4) 電動機	AC400V×60Hz×0.2kW	
(5) 数量	2台	

3 工事請負共通仕様書の適用

下-2-2-1-27

4 特記事項

- (1) 番号板 1 枚/台を付属品に追加する。
- (2) 流れ方向及び開閉方向は、赤印で表示する。

第32条 2系・3系沈澄池各槽排水ポンプの仕様は、次のとおりとする。

1 使用目的

本ポンプは、第3沈澄池排水ピットより場内側溝へ排水するものである。

2 形式及び性能

項目	仕様	備考
(1) 形式	着脱式水中モータポンプ	
(2) 吸込口径	150mm	
(3) 吐出量	2.0m ³ /min	
(4) 全揚程	10.3m 以上	
(5) 電動機出力	AC400V×60Hz×7.5kW	
(6) 台数	1台	

3 工事請負共通仕様書の適用

下-2-4-1-3

4 工事請負共通仕様書選択項目及び範囲 (●印を付けたものを適用する。)

(1) 付属品

● 付属品 1 ● 付属品 2 ● 付属品 3

5 特記事項

- (1) 工事請負共通仕様書下-2-4-1-3-3- (1) -イのモーターの冷却は、空冷方式 (気中運転対応型) とする。
- (2) 付属品 3 のうち、次のものを除外する。
・番号版 1 枚

第33条 給水ポンプの仕様は、次のとおりとする。

1 使用目的

本ポンプは、給水槽より各所へ給水するものである。

2 形式及び性能

項目	仕様	備考
(1) 形式	着脱式水中モータポンプ	
(2) 吸込口径	80mm	
(3) 吐出量	1.0m ³ /min	
(4) 全揚程	20m 以上	
(5) 電動機出力	AC400V×60Hz×5.5kW	
(6) 台数	2台	

(3) 使用圧力	2, 3系余剰汚泥ポンプ締切圧	
(4) 電動機	AC400V×60Hz×0.2kW	
(5) 数量	2台	

3 工事請負共通仕様書の適用

下-2-2-1-27

4 特記事項

- (1) 番号板 1 枚/台を付属品に追加する。
- (2) 流れ方向及び開閉方向は、赤印で表示する。

第32条 2系・3系沈澄池各槽排水ポンプの仕様は、次のとおりとする。

1 使用目的

本ポンプは、第3沈澄池排水ピットより場内側溝へ排水するものである。

2 形式及び性能

項目	仕様	備考
(1) 形式	着脱式水中モータポンプ	
(2) 吸込口径	150mm	
(3) 吐出量	2.0m ³ /min	
(4) 全揚程	10.3m 以上	
(5) 電動機出力	AC400V×60Hz×7.5kW	
(6) 台数	1台	

3 工事請負共通仕様書の適用

下-2-4-1-3

4 工事請負共通仕様書選択項目及び範囲 (●印を付けたものを適用する。)

(1) 付属品

● 付属品 1 ● 付属品 2 ● 付属品 3

5 特記事項

- (1) 工事請負共通仕様書下-2-4-1-3-3- (1) -イのモーターの冷却は、空冷方式 (気中運転対応型) とする。
- (2) 付属品 3 のうち、次のものを除外する。
・番号版 1 枚

第33条 給水ポンプの仕様は、次のとおりとする。

1 使用目的

本ポンプは、給水槽より各所へ給水するものである。

2 形式及び性能

項目	仕様	備考
(1) 形式	水中モータポンプ	
(2) 吸込口径	80mm	
(3) 吐出量	1.0m ³ /min	
(4) 全揚程	20m 以上	
(5) 電動機出力	AC400V×60Hz×5.5kW	
(6) 台数	2台	

に準じる。

- (8) 既設埋設配管更新に伴い掘削を行う。更新後は掘削残土にて埋め戻しを行い、場内敷き均しとする。

第 39 条 仮設工

- 1 今回更新する返送汚泥ポンプ及び余剰汚泥ポンプは、別途土木工事により汚泥井を再構築した後に運用開始するため、別途土木工事の施工中、返送汚泥ポンプ及び余剰汚泥ポンプは仮設運用を行う。
- 2 仮設返送汚泥ポンプ設置工（据付、撤去とも）

(1) 1系仮設返送汚泥ポンプの仕様は、次のとおりとする。

項目	仕様	備考
形式	汚水用水中ポンプ	
ポンプ口径	150mm	
吐出し量	4.0m ³ /min	
全揚程	4 m以上	
電動機出力	AC200V×11kW	
数量	5台	

(2) 2系仮設返送汚泥ポンプの仕様は、次のとおりとする。

項目	仕様	備考
形式	汚水用水中ポンプ	
ポンプ口径	150mm	
吐出し量	4.0m ³ /min	
全揚程	4 m以上	
電動機出力	AC200V×11kW	
数量	5台	

(3) 3系仮設返送汚泥ポンプの仕様は、次のとおりとする。

項目	仕様	備考
形式	汚水用水中ポンプ	
ポンプ口径	150mm	
吐出し量	4.0m ³ /min	
全揚程	4 m以上	
電動機出力	AC200V×11kW	
数量	12台	

(4) 特記事項

ア 仮設返送汚泥ポンプから仮設ポンプ現場操作盤までの配線は本工事に含む。

イ 仮設返送汚泥ポンプは、現場及び遠方から操作できるものとし、故障発生時には、仮設ポンプ現場操作盤に警報を発報し、遠方に一括故障で出力する。

ウ 仮設返送汚泥ポンプの運転に必要な電源は、本市から供給する。

エ 通常は、各ポンプとも全台運転（内各1台は予備機）とする。

オ 仮設返送汚泥ポンプの運転は本市（発注者）にて行うが、故障時の修繕等の対応は受注者にて行う。

(正)

に準じる。

- (8) 既設埋設配管更新に伴い掘削を行う。更新後は掘削残土にて埋め戻しを行い、場内敷き均しとする。

第 39 条 仮設工

- 1 今回更新する返送汚泥ポンプ及び余剰汚泥ポンプは、別途土木工事により汚泥井を再構築した後に運用開始するため、別途土木工事の施工中、返送汚泥ポンプ及び余剰汚泥ポンプは仮設運用を行う。
- 2 仮設返送汚泥ポンプ設置工（据付、撤去とも）

(1) 1系仮設返送汚泥ポンプの仕様は、次のとおりとする。

項目	仕様	備考
形式	汚水用水中ポンプ	
ポンプ口径	150mm	
吐出し量	4.0m ³ /min	
全揚程	4 m以上	
電動機出力	AC200V×11kW	
数量	5台	

(2) 2系仮設返送汚泥ポンプの仕様は、次のとおりとする。

項目	仕様	備考
形式	汚水用水中ポンプ	
ポンプ口径	150mm	
吐出し量	4.0m ³ /min	
全揚程	4 m以上	
電動機出力	AC200V×11kW	
数量	5台	

(3) 3系仮設返送汚泥ポンプの仕様は、次のとおりとする。

項目	仕様	備考
形式	汚水用水中ポンプ	
ポンプ口径	150mm	
吐出し量	4.0m ³ /min	
全揚程	4 m以上	
電動機出力	AC200V×11kW	
数量	12台	

(4) 特記事項

ア 仮設返送汚泥ポンプから仮設ポンプ現場操作盤までの配線は本工事に含む。

イ 仮設返送汚泥ポンプは、現場から操作できるものとし、故障発生時には、仮設ポンプ現場操作盤に警報を発報し、遠方に一括故障で出力する。

ウ 仮設返送汚泥ポンプの運転に必要な電源は、本市から供給する。

エ 通常は、各ポンプとも全台運転（内各1台は予備機）とする。

オ 仮設返送汚泥ポンプの運転は本市（発注者）にて行うが、故障時の修繕等の対応は受注者にて行う。

(誤)

- カ 仮設返送汚泥ポンプは、工事完了後、撤去する。
- キ 仮設期間は、18 か月を想定している。

3 仮設余剰汚泥ポンプ設置工（据付、撤去とも）

(1) 1系仮設余剰汚泥ポンプの仕様は、次のとおりとする。

項目	仕様	備考
形式	汚水用水中ポンプ	
ポンプ口径	80mm	
吐出し量	0.6m ³ /min	
全揚程	7m以上	
電動機出力	AC200V×2.2kW	
数量	2台	

(2) 2,3系仮設余剰汚泥ポンプの仕様は、次のとおりとする。

項目	仕様	備考
形式	汚水用水中ポンプ	
ポンプ口径	80mm	
吐出し量	0.6m ³ /min	
全揚程	7m以上	
電動機出力	AC200V×2.2kW	
数量	4台	

(3) 特記事項

- ア 仮設返送汚泥ポンプから仮設ポンプ現場操作盤までの配線は本工事に含む。
- イ 仮設余剰汚泥ポンプは、現場及び遠方から操作できるものとし、故障発生時には、仮設ポンプ現場操作盤に警報を発報し、遠方に一括故障で出力する。
- ウ 仮設余剰汚泥ポンプの運転に必要な電源は、本市から供給する。
- エ 通常は、各ポンプとも全台運転（内各1台は予備機）とする。
- オ 仮設余剰汚泥ポンプの運転は本市（発注者）にて行うが、故障時の修繕等の対応は受注者にて行う。
- カ 仮設余剰汚泥ポンプは、工事完了後、撤去する。
- キ 仮設期間は、18 か月を想定している。

4 仮設返送汚泥ポンプ・余剰汚泥ポンプ電気設備工（据付、撤去とも）

仮設返送汚泥ポンプ・余剰汚泥ポンプの運転制御に必要な配電盤類及び機器を据え付けるとともに、操作方式を満足し、単線結線図、配線系統図および配線工事図に準じて、機器類の運転、操作並びに監視制御に必要な配管配線を行う。

(1) 1,2系仮設変圧器盤の仕様は、次のとおりとする。

項目	仕様	備考
(1) 形式	屋外自立閉鎖型	
(2) 電源電圧	3Φ3W 420V 60Hz	
(3) 変圧器	3φ 150kVA 420V/210V	
(4) 数量	1面	

(正)

- カ 仮設返送汚泥ポンプは、工事完了後、撤去する。
- キ 仮設期間は、18 か月を想定している。

3 仮設余剰汚泥ポンプ設置工（据付、撤去とも）

(1) 1系仮設余剰汚泥ポンプの仕様は、次のとおりとする。

項 目	仕 様	備 考
形 式	汚水用水中ポンプ	
ポンプ口径	80mm	
吐 出 量	0.6m ³ /min	
全 揚 程	7m以上	
電動機出力	AC200V×2.2kW	
数 量	2台	

(2) 2,3系仮設余剰汚泥ポンプの仕様は、次のとおりとする。

項 目	仕 様	備 考
形 式	汚水用水中ポンプ	
ポンプ口径	80mm	
吐 出 量	0.6m ³ /min	
全 揚 程	7m以上	
電動機出力	AC200V×2.2kW	
数 量	4台	

(3) 特記事項

ア 仮設返送汚泥ポンプから仮設ポンプ現場操作盤までの配線は木工事に含む。

イ 仮設余剰汚泥ポンプは、現場から操作できるものとし、故障発生時には、仮設ポンプ現場操作盤に警報を発報し、遠方に一括故障で出力する。

ウ 仮設余剰汚泥ポンプの運転に必要な電源は、本市から供給する。

エ 通常は、各ポンプとも全台運転（内各1台は予備機）とする。

オ 仮設余剰汚泥ポンプの運転は本市（発注者）にて行うが、故障時の修繕等の対応は受注者にて行う。

カ 仮設余剰汚泥ポンプは、工事完了後、撤去する。

キ 仮設期間は、18 か月を想定している。

4 仮設返送汚泥ポンプ・余剰汚泥ポンプ電気設備工（据付、撤去とも）

仮設返送汚泥ポンプ・余剰汚泥ポンプの運転制御に必要な配電盤類及び機器を据え付けるとともに、操作方式を満足し、単線結線図、配線系統図および配線工事図に準じて、機器類の運転、操作並びに監視制御に必要な配管配線を行う。

(1) 1,2系仮設変圧器盤の仕様は、次のとおりとする。

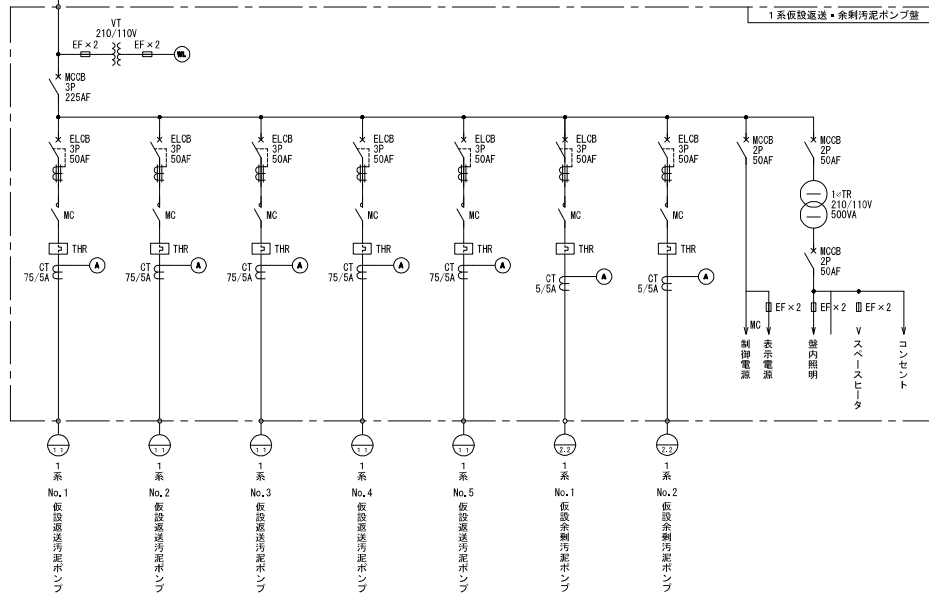
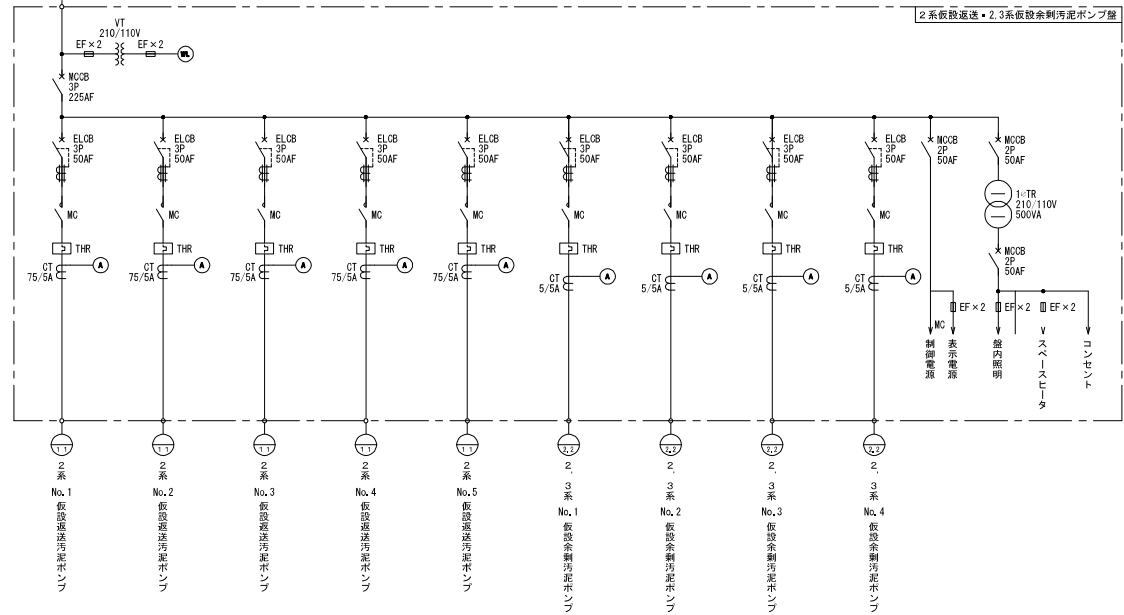
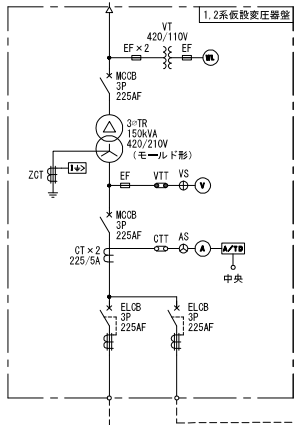
項 目	仕 様	備 考
(1) 形 式	屋外自立閉鎖型	
(2) 電 源 電 圧	3Φ3W 420V 60Hz	
(3) 変 圧 器	3φ 150kVA 420V/210V	
(4) 数 量	1面	

(誤)

仮設盤単線結線図

添付無し

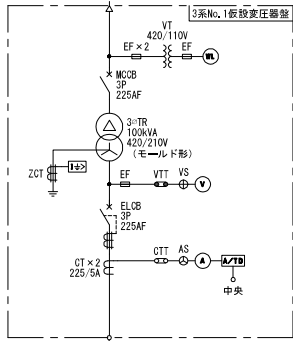
西沢砂池棟 No.2 400V低圧盤より
3:3M 420V 60Hz



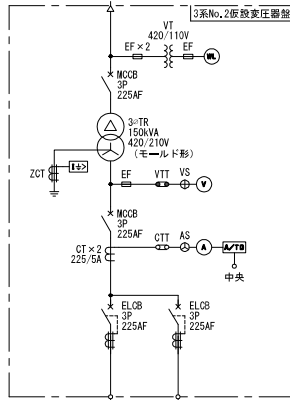
- 注記
 1. 特記なしは仮設工事を示す。
 2. 本図は参考図であり、承諾図により決定する。

仮設盤単線結線図(1)

西沈砂池様 No.2 400V低圧盤より
3-3W 420V 50Hz

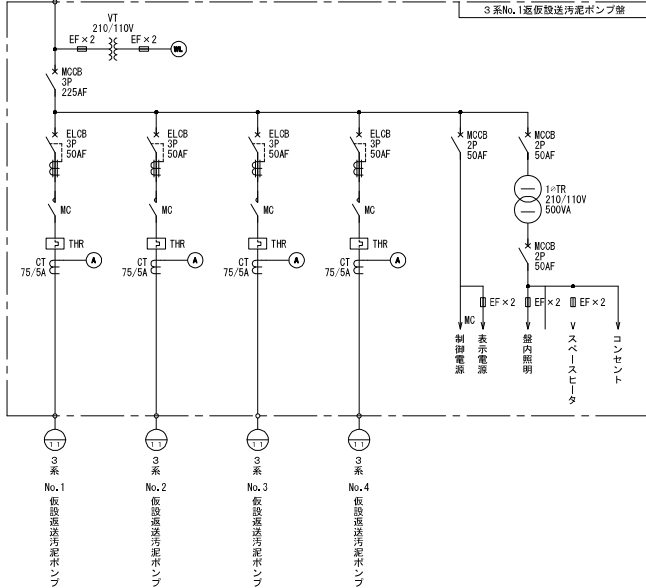


西沈砂池様 No.2 400V低圧盤より
3-3W 420V 50Hz

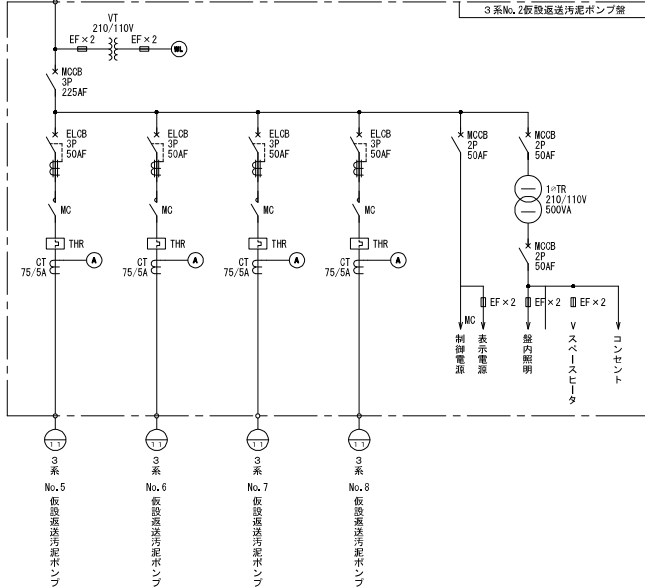


13

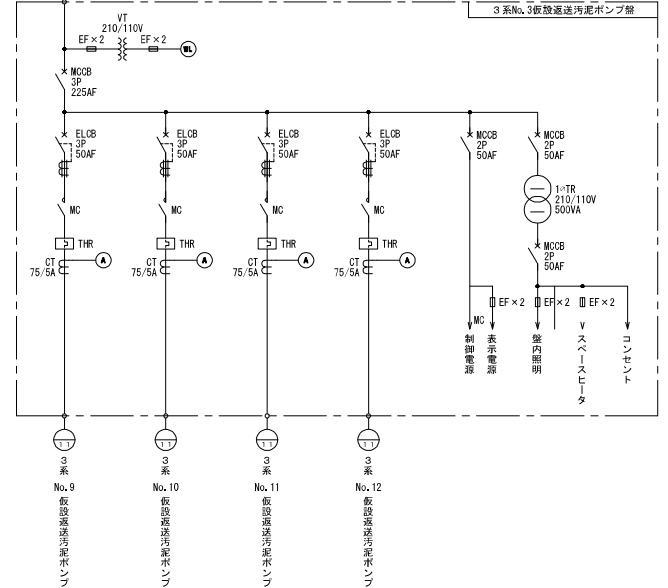
3系No.1仮設送汚泥ポンプ盤



3系No.2仮設送汚泥ポンプ盤



3系No.3仮設送汚泥ポンプ盤



注記

1. 特記なしは仮設工事を示す。
2. 本図は参考図であり、承諾図により決定する。